

# 事業計画書目次

[みどり環境局]

1款2項3目

(単位：千円)

計画 書頁	事業名	令和8年度		令和7年度		増△減（8－7）		新規・ 拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
1	まちなかでの緑の創出・育成事業	41,567	41,546	74,500	71,500	△ 32,933	△ 29,954	
2	緑や花があふれる地域づくり事業	110,472	110,451	123,400	123,400	△ 12,928	△ 12,949	
3	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業	50,300	50,300	72,300	72,300	△ 22,000	△ 22,000	
4	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業	316,450	316,450	316,450	316,450	0	0	
	計	518,789	518,747	586,650	583,650	△ 67,861	△ 64,903	

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	環境活動事業課				新規拡充		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	1
歳出予算科目	みどり保全創造事業費会計	1	款	2	項	3	目	政策群番号	14	施策群番号	33
事業名称	まちなかでの緑の創出・育成事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	41,567	0	0	21	0	41,546
令和7年度	74,500	3,000	0	0	3,000	68,500
増▲減	▲32,933	▲3,000	0	21	▲3,000	▲26,954

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	3,285	41,000	16,427		16,427	16,427
	市債＋一般財源	3,285	41,000	16,427		16,427	16,427
決算	事業費	46,201	22,811				
	市債＋一般財源	46,201	22,811				

事業概要 (アクティビティ)		各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進するとともに、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
公共施設・公有地での緑の創出	単位	目標	-	推進	推進	推進	推進	推進	推進
	箇所数	実績	-	18					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
公共施設・公有地での緑の創出	単位	目標	-	推進	推進	推進	推進	推進	推進
	-	実績	-	2					
事業目的		①多くの市民の目に触れる場所である各区の主要な公共施設・公有地において、緑を充実させる取組を推進します。 ②多くの人が訪れる場所における、公開性のある緑化などを行う市民・事業者に対しその費用の一部を助成、支援することで、緑の持つ憩いの場としての機能や緑・花による街の魅力向上や賑わいの向上につなげます。 ③緑の環境をつくり育てる条例や緑化地域制度等に定める基準以上の緑化を行い、保全することに対し、建築物所有者（管理者）の建築物の敷地に対する固定資産税・都市計画税を軽減することで、緑豊かな都市景観を形成し、生活に潤いと安らぎを与える緑化の推進と緑地の保全を進めます。 ④緑の環境をつくり育てる条例に基づき保存すべき樹木として指定し、樹木医が定期的な調査により育成状況を確認するとともに、維持管理について助成支援を行うことで、潤いのある市民生活の確保と、都市の美観風致を維持します。							
背景・課題		①多くの市民が利用する公共施設を率先して緑化することで、市民が実感できる緑化を進める必要があります。 ②より多くの市民に活用していただけるよう、事業の周知をさらに進める必要があります。 ③市民や企業が主体となった緑地保全を進めるため、制度の周知を図るとともに課内や区役所と連携して事業を進めていく必要があります。 ④制度の周知を図り、維持管理助成を適切に利用してもらう必要があります。							
根拠法令・方針決裁等		横浜みどりアップ計画[2024-2028] ①横浜市公共施設・公有地での緑の創出事業事務取扱要領 ③横浜市建築物緑化保全契約 横浜みどり税条例 横浜市建築物緑化保全契約手続要綱 ④名木古木保存事業 緑の環境をつくり育てる条例 横浜市名木古木保存事業要綱							
根拠・データ等		横浜みどりアップ計画[2024-2028]（令和6年2月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業スケジュール		①事業実施（通年）、事業説明・予算取りまとめ（8月）、実績報告（3月） ②助成受付（例年1月末まで） ③受付・契約の締結（例年11月まで） ④助成受付（例年1月末まで）、新規指定受付（例年6月末まで）、指定調整会議（12月）							
事業開始年度		①平成21年度②平成31年度③平成21年度④昭和48年							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	建築物緑化保全契約の締結	750	750	0	
	2	名木古木の保存	6,797	2,250	4,547	人件費増のため
	3	公開性のある緑空間の創出支援	4,000	4,000	0	
	4	シンボリックな緑の創出・育成	30,020	67,500	▲37,480	各区局の計画を踏まえた減

	細事業合計	41,567	74,500	▲32,933	
本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長 鈴木 幸子	係長 高村 暁子			

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	戦略企画課				新規拡充	□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	2	
歳出予算科目	みどり保全創造事業費会計	1	款	2	項	3	目	政策群番号	14	施策群番号	33
事業名称	緑や花があふれる地域づくり事業										

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	110,472	0	0	21	0	110,451
令和7年度	123,400	0	0	0	0	123,400
増▲減	▲12,928	0	0	21	0	▲12,949

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度		令和10年度	令和11年度
予算	事業費	141,580	123,950	129,600		129,600	129,600
	市債＋一般財源	138,080	123,950	129,600		129,600	129,600
決算	事業費	97,500	91,570				
	市債＋一般財源	97,500	91,570				

事業概要 (アクティビティ)		緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
18区で、の地域に根差した花や緑の取組	単位	目標	18	18	18	18	18	18	
	件/年	実績	18						
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
身近に花や緑に触れ合う市民の割合が増加	単位	目標	8.7	8.7	30	-	-	-	
	%	実績	11.1						
事業目的		①【地域に根差した緑や花の楽しみづくり】オープンガーデン等イベントの開催・花や緑を育む活動の支援などの地域に根差した各区での取組や地域に身近な公共施設・公有地において緑を充実し良好に育成することで、実感できる緑や花の楽しみづくりを推進します。また、公園愛護会を対象とした花壇講習会の実施や球根を公園愛護会に配布し、各区の公園花壇に植えていただき、地域の花いっぱいにつなげます。 緑や花に対する市民の皆様の意識の高まりや盛り上がりを生かし、緑化への市民参画に資する取組を継続して実施することで、GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成にもつなげていきます。 ②【人生記念樹】市民が緑に対する愛着を深め、広く民有地に植樹し、自らの木として守り育て都市緑化の推進、寄与を目的とします。また、横浜市内産苗木を活用することで、みどりアップ計画の一環である地産地消にも取り組みます。							
背景・課題		①花壇づくり講習会やオープンガーデン等イベントの開催・花や緑を育む活動の支援などの地域に根差した各区での取組推進や多くの市民が利用する公共施設・公有地で花壇整備、屋上・壁面緑化など、多様な緑化を進めてきました。 今後も、市民・企業・団体などの皆様との連携をさらに拡大・強化し、花や緑への関心や市民参加の広がりを全市的に展開することや、身近な公共施設を率先して緑化することで市民が実感できる緑や花の楽しみづくりを進め、創出した緑を良好に維持管理することが必要です。 ②市民参加による緑の育成と推進を図り、民有地の緑を増やす施策の一つとして、市民が人生のうちに数々の思い出を残す出生、結婚などの喜びを記念し、記念樹として苗木の配布を行っています。 配布数は目標に達しておらず、広く市民に周知され、活用される必要があります。							
根拠法令・方針決裁等		①市地域に根差した緑や花の楽しみづくり（身近な公共施設・公有地での緑の創出）事業事務取扱要領、横浜市地域に根差した緑や花の楽しみづくり（身近な公共施設・公有地での緑の育成）事業事務取扱要領、都市公園法、横浜市公園条例、道路法、「地域に根差した緑や花の楽しみづくり（各区における市民や企業と連携した緑や花の楽しみづくり）」実施要綱、横浜市緑化推進関係団体事業補助金交付要綱 ②横浜市人生記念樹配布事業要綱							
根拠・データ等		・公園愛護会への球根・多年草配布実績 【令和3年度】多年草：9,000鉢 387公園、球根256,000球 1,148公園 【令和4年度】多年草：7,600鉢 355公園、球根272,000球 1,141公園 【令和5年度】球根364,000球 1,310公園 【令和6年度】多年草：8,350鉢 766公園、球根150,500球 1,221公園 ・横浜みどりアップ計画[2024-2028]（令和6年2月） ・横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業スケジュール		①事業実施（通年）、事業説明・予算取りまとめ（8月）、実績報告（3月） ②受付（通年）、配布（5～6月、10～11月）							
事業開始年度		①平成21年度 ②昭和52年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	地域に根差した緑や花の楽しみづくり	101,872	114,800	▲12,928	各区の実施計画に基づく減
	2	人生記念樹の配布	8,600	8,600	0	

	細事業合計	110,472	123,400	▲12,928	
本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、 公正・適正に作成しました。	課長 尾立 裕紀		係長 小野澤 圭介		

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	環境活動事業課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充		事業評価書番号	3	
歳出予算科目	みどり保全創造事業費会計	1	款	2	項	3	目	政策群番号	14	施策群番号 33
事業名称	子どもを育む空間での緑の創出・育成事業									

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	50,300	0	0	0	0	50,300
令和7年度	72,300	0	0	0	0	72,300
増▲減	▲22,000	0	0	0	0	▲22,000

歳出		令和5年度	令和6年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
予 算	事業費	75,000	74,000	98,463	98,463	98,463
	市債＋一般財源	71,500	74,000	98,463	98,463	98,463
決 算	事業費	44,098	40,474			
	市債＋一般財源	44,098	40,474			

事業概要 (アクティビティ)		次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多く時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
事業説明	単位	目標	2	2	2	2	2	2	2
	回	実績	2	2					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
緑の創出	単位	目標	10	10	10	10	10	10	10
	箇所	実績	29	25					
事業目的		保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成 緑の創出・育成を通じて、緑、花や生き物とふれあったり、育てる体験を通して、子どもの豊かな感性を育むとともに子どもたちが地域の緑や環境に関心を持つきっかけを増やします。 ア 緑の創出 子どもを育む空間である保育園、幼稚園、小中学校において、園庭・校庭の芝生化や生き物とふれあい学べるビオトープの整備、花壇づくり、屋上や壁面の緑化など、多様な緑を創出する取組を推進します。 イ 緑の育成 創出した緑（園庭・校庭の芝生等）を良好に維持するとともに、多様な緑化を一層推進するため、維持管理費用の一部を担います。また、芝生やビオトープ、花育等緑化に関する技術支援を行います。							
背景・課題		保育園、幼稚園、小中学校において、広報により制度の周知が進み、多様な緑を創出しました。今後も施設ごとのニーズに合わせた緑の創出が必要です。また、子どもたちが日常的に利用している芝生やビオトープを良好な状態で維持していくためには、施設管理者へのフォローアップが重要であり、今後も継続した技術支援が必要です。							
根拠法令・方針決裁等		横浜みどりアップ計画[2024-2028] 横浜市市立保育所・学校等緑化事業事務取扱要領 横浜市市立保育所・学校等緑地育成事業事務取扱要綱							
根拠・データ等		公立保育園・小中学校数： 約550校 （令和6年度学校基本調査より） 横浜みどりアップ計画[2024-2028]（令和6年2月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業スケジュール		公立保育園・小中学校の整備：事業実施(通年)、事業説明・予算取りまとめ(8月)、実績報告(3月)							
事業開始年度		平成26年度 （平成21年度から実施している民有地緑化助成事業、公共施設緑化事業、公共施設緑化管理事業を一部統合して事業化）							

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	(単位：千円) 増減説明
	1	保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成	50,300	72,300	▲22,000	各区局の計画を踏まえた減
	細事業合計		50,300	72,300	▲22,000	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	鈴木 幸子	高村 暁子

令和8年度 事業計画書

事業局課	みどり環境局	環境活動事業課			新規拡充	□ 新規 □ 拡充		事業評価書番号	4	
歳出予算科目	みどり保全創造事業費会計	1	款	2	項	3	目	政策群番号	14	施策群番号 33
事業名称	緑や花による魅力・賑わいの創出・育成事業									

(単位：千円)

区 分	金 額	財 源 内 訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和8年度	316,450	0	0	0	0	316,450
令和7年度	316,450	0	0	0	0	316,450
増▲減	0	0	0	0	0	0

歳出		令和5年度	令和6年度			令和9年度	令和10年度	令和11年度
予 算	事業費	362,568	266,450			222,693	222,693	222,693
	市債＋一般財源	362,568	266,450			222,693	222,693	222,693
決 算	事業費	432,115	253,714					
	市債＋一般財源	432,115	253,714					

事業概要 (アクティビティ)		ガーデンネックレス横浜は、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しています。多くの市民や国内外から観光客が訪れるエリアである都心臨海部等において、これらの取組を継続し、２０２７年国際園芸博覧会の開催にもつなげていきます。また、公共空間を中心に緑や花による空間づくりや質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力づくり、回遊性の向上、賑わいづくりにつなげます。							
事業指標① (アウトプット)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
緑花による空間づくりと維持管理	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
	箇所	実績	13	14					
事業指標② (アウトカム)		年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
公園や街路樹、里山など、花や緑を感じられる場所があると感じている人の割合	単位	目標	推進	推進	推進	推進	推進	推進	推進
	%	実績	88	88					
事業目的		山下公園などの都心臨海部や、ガーデンネックレス横浜の会場となっている里山ガーデン（よこはま動物園ズーラシア隣接）など、多くの市民が訪れる場所で、観光資源となっている公園や港湾緑地、街路樹、文化施設などの公共空間を相互に連携させ、地域や施設の特性に合わせた季節感ある緑花による場づくりを集中的に展開します。 ※1項、2項合わせた事業の内容です。							
背景・課題		山下地区を中心とした都心臨海部や、里山ガーデン、新横浜駅周辺などで空間づくりと維持管理を進めました。それにより、都市公園や港湾緑地、街路樹などにおいて緑のネットワーク形成が進み、季節の花による空間演出が行われ、都心臨海部の季節の景観として定着しました。 山下公園や港の見える丘公園などでは、バラ園や美しい花壇が整備され、いつ訪れても緑や花が楽しめる質の高い管理が行われています。また、里山ガーデンでは「緑や花でガーデンネックレスの会場を彩りました。」これらの取組をGREEN×EXPO 2027の開催につなげていきます。 ※1項、2項合わせた事業の内容です。							
根拠法令・方針決裁等		横浜みどりアップ計画[2024-2028] 横浜市都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり事業事務取扱要領							
根拠・データ等		横浜みどりアップ計画[2024-2028]（令和6年2月） 横浜みどりアップ計画[2019-2023] 事業報告書							
事業スケジュール		事業実施（通年）、予算とりまとめ（8月）、報告取りまとめ(3月)							
事業開始年度		平成26年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		8年度	7年度	差引（増減）	増減説明
	1	都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくり	316,450	316,450	0	
	細事業合計		316,450	316,450	0	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長
	鈴木 幸子	高村 暁子